

福祉文化通信

～ Well-being への道～

2017.8.31
Vol. 83

●発行／広報委員会
稲田 泰紀・関矢 秀幸
●制作／長瀬 さやか

日本福祉文化学会事務局 〒305-0033 茨城県つくば市東新井 24-5 特定非営利活動法人 茨城 YMCA 内 Tel/Fax:029-896-9389 E-mail:fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp



TOKYO
東京
でお会いしましょう！

2017年度 第28回日本福祉文化学会 全国大会（東京大会）について

◆大会テーマ：福祉文化の未来を考える（仮）

開催趣旨及び経緯

本学会では全国大会のあり方については、将来構想委員会において検討し、大枠を決定し、その提言をふまえて第20回東京大会から開催してきました。
具体的な枠組みは、交流分科会、研究と実践の融合、地域福祉文化活動報告、当事者の参加などである。その後、これらの内容を21回（長崎）、22回（仙台）、23回（岡山）、24回（東京）、25回（大分）、26回（神戸）、27回（東京）と引き継いできた。
第28回全国大会（東京大会）はテーマを「福祉文化の未来を考える」とし、より多くの学会員、非会員の参加を

得て、福祉文化について、もう一度考え直す機会とした。

そのために、従来のやり方を大きく変えて、新しいアイデアを取り入る「持ち寄り型」の大会としていく。具体的には、自主シンポジウム、福祉文化研究・調査プロジェクト（研究助成）等の枠組みを新規導入し、これまで学会の活動に関わっていない会員、特に若手の研究者・現場実践者の積極的に参加企画の促進を試みることにした。参加者および講演者との新たな出会いに「わくわく・どきどき」し、「フムフムなるほど」と福祉文化の再発見がもたらされる大会になる内容を検討している。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしています。

大会スケジュール

午前：会員総会／開会セレモニー／研究発表・自主シンポジウム
午後：福祉文化研究・調査プロジェクト報告／特別講演／開会セレモニー／懇親会

今後の予定

- 8月末 『第二次チラシ』（以前の第一次チラシ）（※特別講演／プロジェクト等掲載）
- 11月末 自主シンポジウム、研究発表募集 締め切り
- 12月末 『第三次チラシ』（※研究発表・自主シンポジウムの演目も可能な限り掲載）
- 1月下旬 参加者事前申込募集 締め切り

《自主シンポジウム・研究発表募集中!!》
学会 HP 等の応募要項をご覧いただき、多くの方のエントリーをお待ちしております。
(日本福祉文化学会 事務局長 前嶋 元)

山折り

報告書発行のお知らせ—— 沖縄現場セミナー担当 岡村 ヒロ子

現場セミナー 2017 in おきなわ

「戦争と福祉～沖縄を考える Part 1～ 平和の文化を育てるために」

2017年2月18～19日に沖縄大学で開催された「沖縄現場セミナー」の報告書発行に向けて蘭田碩哉顧問を中心に編集を進めております。セミナーに参加なさった方々はコーディネーターを務めた蘭田碩哉顧問と、セミナーでの議論をみ

なさまのそれぞれの現場で広めることをお約束なさったかと思えます。その時の学びの場に役立てていただければ幸いです。

また、多くの方々に報告書をお読みいただくことで今回の沖縄現場セミナーの

趣旨と、沖縄（ウチナンチュー）がもつ諸問題はヤマト（ヤマトン

チュー）にとっても同様であることがお分かりいただけると思います。中味の濃い報告書に仕上がりますので楽しみにお待ちください。

発行日、価格については決まり次第お知らせいたします。

日本福祉文化学会 3.0（福祉文化研究 Vol.26 p.12）を意識して

文化の交差点

「たまごの家」は豊潤な土壌になれるか

加藤 美枝

*4年目の今年度は平成28年日本福祉文化学会実践学会会費を受賞した加藤美枝氏より活動紹介をいただきます。

「異世代交流とこれからのコミュニティづくり」として第27回東京大会第3交流分科会では、たまごの家発足5ヶ月の実践報告をいとうぐちに進められた。（福祉文化通信81、福祉文化研究 Vol.26 p.23）「ひこばえ広場」に建てた「他孫」たまごの家は本年6月で1年が経った。「高齢者の力を子育てに、子どもの力を高齢者の生きがいに」を掲げて保育園児と高齢者が遊ぶ「ひこばえ広場」の活動は7年目になる。

世田谷区生涯大学（旧老人大学）に20年近くかかわっていた関係もあり、周りには人生経験と専門知識・技術や生活の知恵を秘め、なお学びながら生きがいを求めている高齢者が少なからずいる。一方で核家族・共働きが当たり前になった社



かになったとはいえない。これまで暮らしの中で当たり前と思ってきた生活の知恵や習慣や文化が無意識に見捨てられ継承されない現実がある。効率と成果が求められる社会で動機を終え、いわゆる社会の周縁に戻ってきた高齢者と、これからの社会の中心に向かって育ちゆく子どもたちが、一時で課題と夢を展望して語りたい。思いをもっている。

『ひこばえ広場たまごの家』も共にその持つ力に触れ共感できる場があれば、現実にはITやAIが活躍する社会であっても、そこには人間の根源にある大切な力を育む土壌が醸成されるのではないかと祈りにも近い思いをもっている。

会員情報

- 2017年6月29日までに新規ご入会された方のお名前と所属ブロックをお知らせいたします。（敬称略）
李千秋（関西ブロック）、平山 恵子（沖縄ブロック）、前田 智子（関西ブロック）、藤岡 純一（関西ブロック）、上田 恵理子（中国・四国ブロック）、安藤 佳珠子（九州ブロック）、横山 泰三（関西ブロック）、青木 智枝（関西ブロック）、朴 春代（関西ブロック）、河合 敬治（中部東海ブロック）
- 2017年6月29日現在
〈会員数〉 個人会員 280名 団体会員 6団体

2018(平成30)年
2月18日(日)

立教大学・池袋キャンパス

会員 2,000円 / 非会員 2,500円

編集後記

第7期の評議員選挙が終わり、新体制への移行に向けた動きが活発化してきています。各ブロック活動や各種委員会の取り組みなど今までの活動が更に発展していくものと思えます。今年度の全国大会（東京大会）では、第6期の総まとめと新体制へのバトンも引き継がれることとなります。会員の皆さんもご都合つけていただき2月18日の全国大会にご参加ください。

山折り

- 北海道ブロック
- 東北ブロック
- 北陸ブロック
- 関東ブロック
- 中部・東海ブロック
- 関西ブロック
- 中・四国ブロック
- 九州ブロック
- 沖縄ブロック
- 各委員会

九州ブロック報告——日比野正己

日本福祉文化学会九州ブロック 熊本大会

〈テーマ〉
地域との豊かな関わりを通して
～福祉と文化ある暮らしを考える

日にち：2017(平成 29)年 10月 21日(土)
会 場：社会福祉法人寿量会 地域密着型特別養護
老人ホーム 天寿園NeO 2F ホール
大会長：米満 淑恵(社会福祉法人寿量会 理事長)

〈主な内容〉
10:30～ 施設見学
13:00～

(1) 熊本地震に対する社会福祉法人寿量会の
実践活動

①「『福祉避難所』の開設と活動(仮)」
松本信弘(寿量会災害対策本部長(当時)・
事務管理部部長)

②「熊本地震被災後の食事提供の工夫と
実践報告(仮)」永田美香代(寿量会栄養部部長)

(2) 特別講演
「アール・プリュット(障がいのある人々の芸術)」
西島善義(アール・プリュットパートナーズ熊本代表)

(3) 福祉文化の実践報告

①ボランティア活動と地域交流(報告と踊り)
ボランティア Team 輪

②人生の看取りの文化活動～天寿園のあゆみ～
村しまゆみ

③天寿園 NeO における地域交流活動の実際
前田洋志(天寿園 NeO 生活相談員・
オレンジユニットリーダー)

(4) 記念講演
「アンパンマン学と福祉文化」
日比野正己(日本福祉文化学会九州ブロック
担当理事)

17:30～ 交流会

※詳細はブロック大会案内をご参照ください。

広報委員会——稲田泰紀

日本福祉文化学会の活動をタイムリーに情報の集発信を行うため、『日本福祉文化学会メールマガジン』配信中です。
登録を希望される方は事務局まで連絡をお願いします。
電話・FAX：029-896-9389
Email：fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp

- 『オールサーバー』
http://ml.allserver.jp/about.jsp を利用します。
- メール本文広告なし／広告メールなし
- 登録は無料です。



東北ブロック報告——永山誠

東北ブロック計画

会員アンケートを実施いたします。会員間の意見
交流を目的に会員あてにメール等でお知らせいた
しますのでご協力をお願いいたします。できれば東北
における福祉の課題とは何かをみなさんと考える
きっかけにし、「会員の交流の場」をつくりたい、
という願いがあります。

関西ブロック報告——岡村ヒロ子

「関係力をみがくトレーニング」

7月8日(土)・9日(日)、菌田碩哉顧問を迎え、
上記のテーマで研修会を開催した。

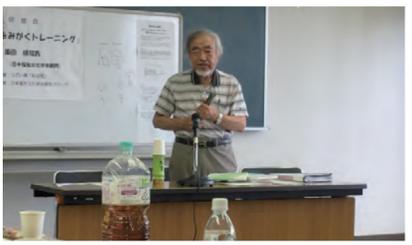
研修の趣旨は、福祉の土台を『人と人の関わりを
豊かにする力』として捉え直し、自らの関係力の現
状に気づき、それを広げ、高め、深めていく方策を
参加者同士のワークを通じて追求するとした。

菌田顧問は「ナラティブ・アプローチ」「ホスピタ
リティ」「ソーシャル・デザイン」のキーワードをあ
げ講義とワークを展開。

援助職には一人ひとりの「物語＝ナラティブ」を聴
く力が求められ、それが「関係力」構築につながる
と説いた。

さらに、究極の「もてなし＝ホスピタリティ」は相
手の主体(＝主人公)化に努めることであり、まさに
福祉を意味すると定義した。

また、日本は高齢者問題・地域社会の崩壊・格差
拡大・自然破壊等の課題を抱える「課題先進国」だが、
それを楽しく・面白く・豊かに解決していくために
「ソーシャル・デザイン」し、新たな価値・仕組み・
プログラムを産み出すことが今こそ必要だと結んだ。
詳細についてはホームページをご覧ください。



ブロック活動 及び 委員会活動

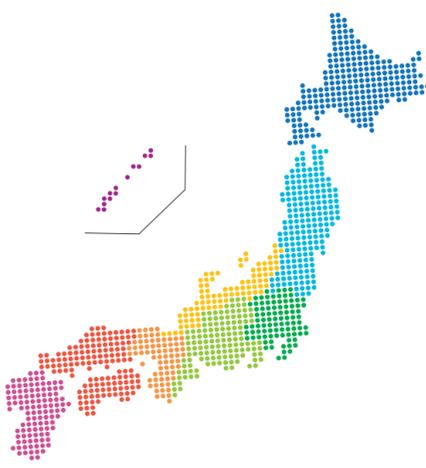
中・四国ブロック報告——松原徹

中・四国ブロック活動報告

岡山市北区・長泉寺夏祭り?地域活性化の
カギは祭りにあり。大人と子どもが共に楽し
める行事が祭りだ。長泉寺夏祭りに関わらせ
ていただき 10年、年々子どもが増え、今で
はこの祭りを楽しみに、おじいちゃん・おば
あちゃんのもとを訪れていると聞く。

岡山県剣道連盟一かつては教育権と言われ
た岡山も、学力の低下、非行、引きこもり等、
青少年問題を多く抱える現在。「今こそ剣道」
と、元岡山市教育長・玉光源爾先生の発起に
よる連盟歌を制作中。

その他、多くの個人・団体との協働により、
様々な社会貢献活動を継続して行っている。
文化の強みは、何とでもコラボできることだ。
主催にこだわらず、他者・団体と協働するこ
とで、より大きな福祉の効果が生まれ、活動
の社会的地位は上がる。そのバックボーンと
しての日本福祉文化学会・中四国ブロックを
目指している。



第7期 日本福祉文化学会 評議員選挙結果

(ホームページ掲載済)

開票日：平成 29年 5月 27日(土) 17:00～20:00
開票場所：東京立正短期大学 短期大学棟 2階 会議室
立会人：浮田千枝子、園川緑、義基 祐正

有権者数—232名 投票者数—74名 投票率—31.90%
有効投票数—489票 無効投票数—29票

順位	氏名	得票数	順位	氏名	得票数
1	石田 易司	28	20	沈 潔	6
2	前嶋 元	22	21	中島 智	6
3	マーレー 寛子	22	22	小坂 享子	6
4	河東田 博	17	23	斎藤 孝夫	5
5	島田 治子	16	24	片居木 英人	5
6	永山 誠	15	25	久保 美紀	5
7	月田 みつえ	14	26	平田 厚	5
8	結城 俊哉	13	27	川北 典子	5
9	安里 和子	12	28	加登田 恵子	5
10	阿比留 久美	11	29	日比野 正己	5
11	脇坂 博史	11	30	園川 緑	4
12	中島 洋	10	31	西野 佳名子	4
13	松原 徹	9	32	大西 一男	4
14	木村 たき子	8	33	磯部 幸子	4
15	加藤 美枝	8	34	空閑 浩人	4
16	雨宮 洋子	8	35	河島 修	4
17	小沼 肇	7	36	井村 圭壯	4
18	小池 和幸	6	37	佐久本 真智子	4
19	本多 洋実	6	38	志賀 俊紀	4

※なお得票数が同じ場合には、抽選によって順位を決めている。

日本福祉文化学会選挙管理委員会
委員長 齋藤 史夫
委員 中島 智

備考：《新体制決定までの今後のスケジュール》
2017年6月末～8月…評議員候補者30名程度(上位者より依頼)承認。
2017年10月頃……新評議員顔合わせの会(新役員体制(案)決定)。
2018年2月18日……(総会)東京大会会員総会で新役員体制の承認。
2018年4月1日～……新体制で始動。